

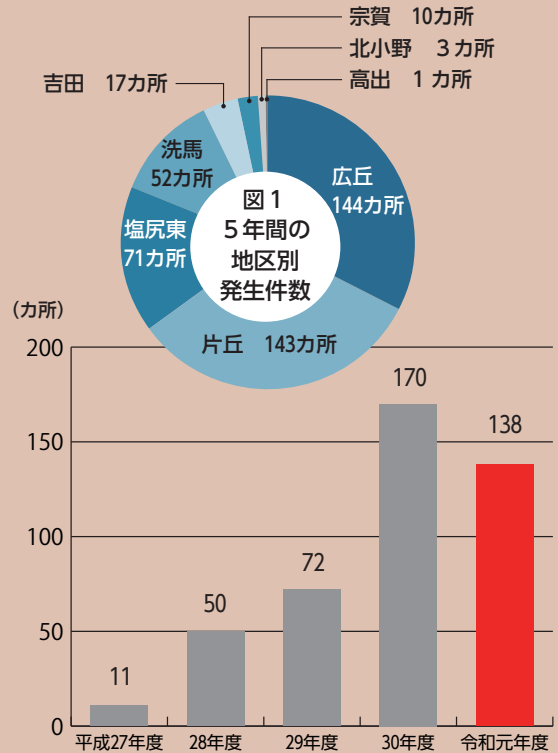
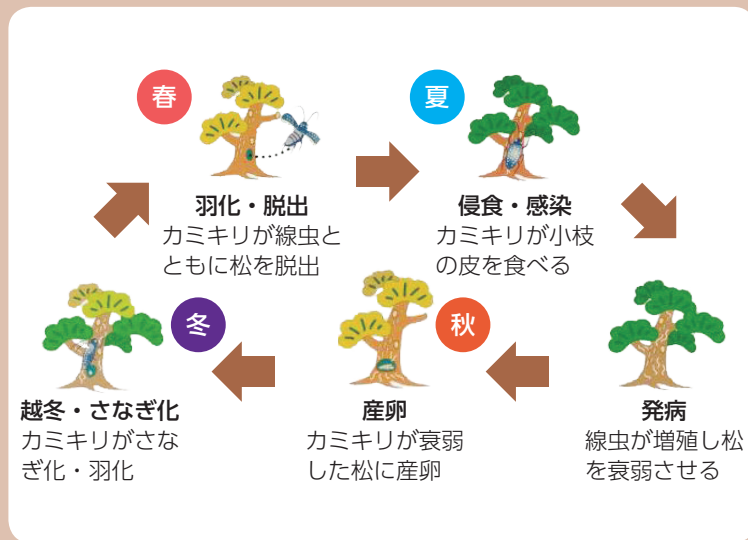
枯れた松を見かけたらご連絡を！

平成26年度以降、市内では松くい虫被害が深刻な問題となっています。松くい虫被害の現状と市内生徒の取り組みをお知らせします。

問 森林課森林資源活用係
☎0263②0280 内線1287

松くい虫被害って何？

松くい虫被害とは、マツノザイセンチュウ（以下、線虫）という1ミリほどの虫が、健康な松の幹で爆発的に増えることで、松が水を吸い上げられなくなり枯れてしまうことです。マツノマダラカミキリ（以下、カミキリ）を媒介として他の松にも被害を与えており、県内で大きな問題となっています。



生徒たちの研究が、松を救う

丘中学校科学部生物班の皆さん

きっかけは、クモの研究をしていた当時の科学部の生徒たちが近くの山の松枯れが気になったことから、平成28年に科学部で松くい虫の研究が始まりました。現在は、枯れている恐れのある松の発見や調査、カミキリの捕獲をしています。地域や校内の松に自作の捕獲装置を設置してカミキリを捕獲したり、木くずを持ち帰り「ベールマン法」という方法で線虫を発見したりしています。

部長の三間優輝さんは「カミキリの捕獲装置を改造してもなかなか捕まらなくて苦労しています。今後も装置の改良を重ねて捕獲できるようにしたいです」と語ってくれました。

昨年の夏、カミキリがクモの巣にかかっているのを部員が発見。捕獲装置のほかに、クモの巣がカミキリ捕獲に一役買うことにも期待していました。



枯れた松を見かけたら、市役所2階森林課まで通報を！